



「美容室」

前回、美容室に行ってから、まだ1ヶ月は経っていないが、
ちょっともっさり感が気になり、
洗面台で前髪とサイドをちょいちょいっと切った。
3人の女性職員から「大丈夫」「かわいい」などお気遣いをいただいた。
実は前回、美容室に行ったとき、「ここをもう少し軽く…」と言ってみたら
「いやあ、このくらいがいいですよ」と言われて
「う、あ、はい」と。

美容室で「どんな風にしてほしいか」を伝えるのって
気恥ずかしさもあり、なんだか、ちょっと難しい。
いつも美容室のタブレットで、ヘアスタイル画像をみながら
指でスィーンと画面を動かしつつ

「こんな感じは可能ですか？」なんて言っている。
今、担当してくれているのは二十代の女性。
「何がどうだからこうなる」みたいに、はっきり答えてくれるのがいい。

だから「う、あ、はい」となったりもする。
このあいだは健康診断のすぐあとだったので、
血液検査の結果が芳しくなく、毎日ブロッコリーを食べているという話をした。
すると、その若い女性美容師さんが
「うちのママも、健康診断のあと急にサバ缶を食べ始めました」
と言って笑った。

ああ、みんな頑張っているんだなあ、としみじみ。
要望を伝えること、
要望をくみとること、
そして何ができるかをわかりやすく説明すること、
それぞれ難しい。

私自身、ベルテールでどんな支援ができるかを誠実にご説明できているだろうか。
美容師さんと話しながら、そのことが頭をよぎった。

ちなみに、実は私もサバ缶を購入したが、まだ食べていない。

23歳の息子はブロッコリーもサバ缶も食べない。
野菜足りてる？という私を横目で見ながら「自分の心配をしたほうがいい」という
静かな言葉を残して部屋に入っていき息子の背中を
複雑な気持ちで見送る今日この頃である。

